



岐阜県政記者クラブ加盟社各位



令和4年3月22日(火) 岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
障害福祉課	社会参加推進係	大塚 弘規	内線 2613 直通 058-272-8309 FAX 058-278-2643

令和3年度「岐阜県障害のある人もない人も共に 生きる清流の国づくり表彰」の決定について

県では、「岐阜県障害のある人もない人も共に生きる清流の国づくり条例」に基づき、共生社会の実現に向けて模範となる活動を行った個人、団体を顕彰するため、標記表彰を行っています。

このたび、今年度の被表彰者が決定しましたので、お知らせします。

記

1 被表彰者（功績については、裏面参照）

◎個人：山田^{やまだ} 智直^{ともなお}氏（（福）岐阜アソシア常務理事、（一社）岐阜県視覚障害者福祉協会会長）

◎団体：中部学院大学^{ちゅうぶがくいんだいがく}・中部学院大学短期大学部^{ちゅうぶがくいんだいがくたんきだいがくぶ}

2 「岐阜県障害のある人もない人も共に生きる清流の国づくり表彰」について

- ・「岐阜県障害のある人もない人も共に生きる清流の国づくり条例」第14条に基づき平成28年度に創設。
- ・共生社会の実現に向け、県民の模範となる活動を長年にわたり行っている個人や団体・事業者、または、先進的・画期的な活動を行っており、県民の模範となる個人や団体・事業者を表彰する。

<令和2年度までの表彰実績>

個人：計6名

団体等：計6団体

3 表彰状の授与

- (1) 日 時：令和4年3月29日(火) 10:00～
- (2) 場 所：岐阜県庁9階 健康福祉部長室
- (3) 授与者：健康福祉部長

4 被表彰者の功績

◎個人：山田 智直 氏（（福）岐阜アソシア常務理事、（一社）岐阜県視覚障害者福祉協会会長）

- 設立 125 年を迎え、初代院長の森卷耳（視覚障がい）以来の当事者の視覚障害者生活情報センターぎふの館長として、視覚障がい者・児福祉の発展と情報提供をはじめとして、相談支援、各種訓練や、学校関係に福祉学習として理解啓発を行っている。
- 岐阜県立岐阜盲学校のオープンキャンパスにも協力し視覚障がいの理解啓発のために点字教室なども行っている。
- 近年は、高齢視覚障がい、重複視覚障がいへの支援のため、就労する場の提供や、生活する場の提供を進めている。
- 地域において、餅つき会や、防災運動会など新たな貢献活動を 10 年以上行っており、障がい者と共に生きる社会の実現に向けて日々奔走している。
- 視覚障害者生活情報支援センターぎふの館長として、視覚障がい者の支援活動に長年取り組み、視覚障がい者が社会参加や社会復帰する際の支援、学校関係に福祉学習として理解啓発を行っており、共生社会への貢献は大である。
- 視覚障がい者の福祉向上のため、ある人もない人も双方に対して活動を行う氏の姿勢は、県民の模範として顕彰に値する。

◎団体：中部学院大学・中部学院大学短期大学部

- 手話の普及と障がい者福祉の向上を目的として、平成 4 年 1 1 月に第 1 回中部手話スピーチコンテストを開催し、2021 年 1 1 月に 30 回目を迎えた。第 25 回大会までは手話スピーチの技術を競う大会であったが、26 回大会から「手話朗読部門」を新たに設け「手話スピーチ部門」「手話朗読部門」の 2 部門によって、技術、表現力、内容などを競うコンテストになった。出場者は岐阜県内を中心に中部地区、全国からも応募があり、事前審査を経て毎回 14 団体ほどが出場し、パフォーマンスによって賞を設けるレベルの高い大会になっている。
- 第 16 回大会から岐阜県聴覚障がい者情報センターの設立に合わせて、「知事特別賞」が設けられ手話の技術向上を目指す、小中学生、高校生、大学生、地域の手話サークル員等にとって、技術を磨く目標の場になっている。
- 大会は、岐阜県、岐阜県教育委員会、岐阜県聴覚障害者情報センター、岐阜県身体障害者協会、岐阜県特別支援教育推進連盟、岐阜県手話サークル協議会より後援、中日新聞と岐阜県聴覚障害者協会より共催を受けて開催されている。大会出場者が大会をきっかけに手話通訳者を目指す例も多くみられる。大会の観戦者は毎回 100 名を超えている。
- 30 年以上の長きに渡って、幅広い世代に対する手話普及のための取組みを実施してきており、障がい及び障がい者の理解促進という条例の施策に合致するものであり、県民の模範として顕彰に値する。